

社会資本総合整備計画書 (葛巻町)

令和7年1月24日

社会資本総合整備計画 社会資本整備総合交付金

令和07年01月24日

計画の名称	第3期 我が町くずまきの里山拓く道づくり												
計画の期間	令和07年度 ～ 令和11年度 (5年間)												
交付対象	葛巻町												
計画の目標	葛巻町内の中心部と郊外山里との円滑なアクセスロードの確保により、住民が心地よく安心して暮らせる福祉の充実を図り、町に暮らす人と人をつなぐ道づくりを形成する。 また、歩きやすいまちなかの実現のため、人・車の動線を明確化することにより安心・安全にまちなか周遊できる道路環境を形成する。												
全体事業費 (百万円)	合計 (A+B+C+D)	280	A	280	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0	%

番号	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		令和7年		令和11年
1	町道間及び国道へのアクセスが円滑化するため道路改良率アップを図りたい。 町内における町道管理延長と道路改良済延長により道路改良率アップを図りたい。 道路改良率 = 道路改良済延長 (km) / 町道管理延長 (km)	72%	73%	74%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業																					
基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況		
												R07	R08	R09	R10	R11					
一体的に実施することにより期待される効果 備考																					
道路事業	A01-001	道路	一般	葛巻町	直接	葛巻町	市町村 道	改築	(1) 茶屋場田子線・下町～田子工区	道路改良 L=1.30km	葛巻町	■	■				80		—		
	A01-002	道路	一般	葛巻町	直接	葛巻町	市町村 道	改築	(1) 下町田子線・下町工区	道路改良 L=0.3km	葛巻町		■	■	■	■	150		—		
	A01-003	道路	一般	葛巻町	直接	葛巻町	市町村 道	改築	(他) 役場線・下町工区	道路改良 L=0.08km	葛巻町	■	■				50		—		
											小計							280			
											合計								280		

事前評価チェックシート

計画の名称： 第3期 我が町くずまきの里山拓く道づくり

事前評価	チェック欄
I. 目標の妥当性 ①基本方針・上位計画等とうの適合 1) 計画の目標が市町村の総合計画「葛巻町総合計画」と適合している	○
II. 計画の効果・効率性 ②目標と事業内容の整合性 1) 目標と指標・数値の整合性がある	○
II. 計画の効果・効率性 ②目標と事業内容の整合性 2) 指標・数値目標と事業内容の整合性がある	○
II. 計画の効果・効率性 ②目標と事業内容の整合性 3) 指標・数値目標が町民にとってわかりやすいものになっている	○
II. 計画の効果・効率性 ③事業の効果 1) 目標に対して十分な効果が得られる事業で構成されている	○
II. 計画の効果・効率性 ③事業の効果 2) ハードとソフトの連携が図られている	○
III. 計画の実現可能性 ④計画の具体性 1) ハード整備の必要性が整理されている	○
II. 計画の効果・効率性 ④計画の具体性 2) ハード事業で保全される区域が明確である	○
III. 計画の実現可能性 ④計画の具体性 3) ハード事業にあたりほぜんしなければならない区域を把握している	○
III. 計画の実現可能性 ④計画の具体性 4) ソフト施策の目的が明確である	○
III. 計画の実現可能性 ⑤円滑な事業執行の環境 1) 計画の内容に関し、地元に対する説事前説明が行われている	○
III. 計画の実現可能性 ⑤円滑な事業執行に環境 2) 地元住民から要望があった内容を勘案し計画立案を行っている	○